

編集後記

この度、『政治学研究』第64号が無事発行される運びとなりました。長い歴史を持つ『政治学研究』の編集に微力ながらも携われたことを喜ばしく感じています。

本号は三田論号として、法学部政治学科の研究会所属の3・4年生方に多くの論文をご寄稿いただきました。国際政治や日本政治、社会学など幅広い分野を網羅しており、どの論文も大変興味深い内容となっています。私たちも一学生として拝読した際には知的好奇心を刺激されました。例年は直接お会いして原稿を受け取ってきましたが、コロナウイルス感染拡大の影響で郵送での受け取りに変更させていただきました。それでも文章から著者の論文にかける思いが伝わり、知識と努力の結晶である論文を手にした際は対面での受け取りに勝るとも劣らない感銘を受けました。

コロナ禍で当たり前に存在していた日常が遠い存在になり、多くの方々がかしさを感じたと思います。学生にとっ

ても、思うように学問に打ち込めないだけでなく課外活動も大幅な制限がかかり、学生としての意義は何なのかという自問自答を持った人も少なくないと思います。様々な困難に直面しつつも完成に至った『政治学研究』に目を通していただき、研究内容に加え、執筆された学生の思いを感じ取っていただければ幸いです。

最後に、この『政治学研究』の刊行にあたり、ご寄稿に関わっていただいたすべての方々に改めて感謝を申し上げます。また、本論文集の序文で巻頭を飾ってくださった塩原良和教授、ご指導いただいた堤林剣教授に心よりお礼申し上げます。そしてご多用の中、私たちの編集作業を支えてくださり、柔軟なご対応で発刊にご尽力いただいた慶應義塾大学出版会、堀井健司様に心からの感謝を申し上げ、編集後記に代えさせていただきます。

法学部政治学科ゼミナール委員会
政治学研究編集担当
室留 裕介（麻生良文研究会）
岡本 晋（大山耕輔研究会）

令和3年3月15日印刷 令和3年3月20日発行（非売品）

政治学研究 第64号

編集兼
発行者 ©慶應義塾大学法学部政治学科ゼミナール委員会
東京都港区三田2-15-45
製作 慶應義塾大学出版会株式会社
東京都港区三田2-19-30